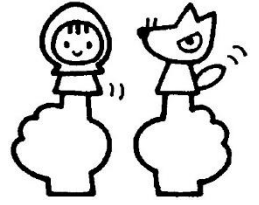


あたらしい本

第263号 2025. 11. 15 発行（こども版）



たくさんよんでくださいね！

「ふわふわさん」 よしむら めぐ/絵 ^{かどの えいこ さく} 角野 栄子/作

^{かどの えいこ} (角野栄子のアコちゃん絵本) ^{えほん} 小学館 (えほん 幼児向き)

「とろーり、とろーり、とろとろりーん」お母さんが歌を歌いながらお料理をしています。それはアコの好きなもの？それとも甘いもの・・・？お母さんとアコちゃんとのかけ合いが楽しい、初めての読み聞かせにぴったりの絵本。

「よるのまちはピカピカチカチカ」 ^{かまた あゆみ さく} 鎌田 歩/作・絵

^{けんきゅうしょ} PHP研究所 (えほん 3～5歳)

よるのまちには、いろいろな色の光があふれてる。ピカピカチカチカと光る赤色、黄色、緑色、オレンジ・・・。いったいなんの光だろう？消防車・救急車・ブルドーザーなどが、よるはどんな姿で活躍しているのかを描く絵本。

「まこちゃんとコトバロボ」 ^{むらかみ} 村上 ^{しいこ さく} しいこ/作 たんじ ^{あきこ} あきこ/絵

^{こうせいしゅっぱんしゃ} 倭成出版社 (よみもの 小初向き)

ドリルも宿題も大嫌いなまこちゃんは、ある日、国語のことならなんでも教えてくれる“コトバロボ”と出会う。コトバロボに宿題を任せきりにするまこちゃんですが・・・。学びの楽しさを伝える、心あたまる物語。

「ちいさなクリスマスツリー」 ^{アーシュラ・モリー・ウィリアムズ} アーシュラ・モリー・ウィリアムズ/作

^{おさき} 尾崎 ^{あいこ やく} 愛子/訳 ^{いわなみしょてん} 岩波書店 (よみもの 小初・小中向き)

クリスマスイブ。ちいさなもみの木は、貧しい家族をよろこばせたい一心で、きらきら光る飾りをさがしに夜の森へとかけだします・・・。クリスマスの心を伝える絵物語。

「ミシュカ」 エドワルト・ファン・テ・フェンテル/作

アヌッシュ・エルマン/作 静山社 (よみもの 小中向き)

難民になった家族がようやく新しい国で見つけた幸せ……。9歳の少女ロヤが、ウサギのミシュカと過ごす楽しい日々を描きながら、長くて大変だった旅や、新しい国で受けるさまざまな差別といったつらさも伝える。[金の石筆賞 (2023年) 銀の絵筆賞 (2023年)]

「カタミミの森」 小森 香折/作 出久根 育/絵

小学館 (よみもの 小中向き)

子ギツネのロビンは、森の仲間たちと一緒に、のんびり暮らしていた。森には“カタミミ”と呼ばれる大きなオオカミが住んでいて、みんなに恐れられていた。ある日、都からイクサグマがやってきて……。

「友だちは名探偵」 加藤 元/作 (ミステリ図書室)

主婦の友社 (よみもの 小上向き)

小学6年の女子、高木とわと仲川冨は、クラスになじめず浮いているが、ふたりでいれば毎日楽しい。ある日、町内にできた奇妙な猫カフェに行ったふたり。その日から、彼女たちのまわりで不思議な事件が起こり始め……。

「チング!夏のともだち」 八束 澄子/作 宮田 十/絵

(ブルーバックス) 小峰書店 (よみもの 小上・中向き)

夏休み、予期せぬ出来事をきっかけに、チチ(父)と韓国へ旅することになった小学5年生の幹太。世界遺産の山があるチェジュ島をめざし、韓国を縦断して……。チチ、そして異国のともだちとのかけがえのない時間を描いた物語。

さかどしりつちゅうおうとしょかん
坂戸市立中央図書館 TEL281-6369

※図書館流通センター「新刊全点案内」より引用